第19回 自然科学研究機構シンポジウム





13:00~18:00 (開場12:30)



http://www.nins.jp/sympo19.php

http://www.nins.jp/

名古屋大学、中日新聞社

大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 事務局 FAX:03-5425-2049 TEL:03-5425-1899 e-mail:nins-kikakurenkei@nins.jp

第19回 自然科学研究機構シンポジウム (公開シンポジウム)

宇宙から脳まで 自然科学研究の"ビッグバン" -コンピューターが切り開く自然科学の未来 -

この広い宇宙の中で、どうやって地球は誕生したのでしょう?宇宙で最初の星は、どうやって作られたのでしょう? 脳の中で情報はどのように行きかっているのでしょう? こうした「目で見ることができない」疑問を解くために、 天文学者から脳科学者まで多くの自然科学研究者が研究を続けています。 今回のシンポジウムでは、コンピューターサイエンスの発展がいかに科学の発展に寄与しているかという視点で、 宇宙から脳まで「自然科学の未来」をお話しします。

(自然科学研究機構 機構長)

開会挨拶

13:10~17:50

13:10~13:50 地球の誕生を観る

小久保英一郎 (自然科学研究機構国立天文台 教授)



▲ 地球の誕生



© NASA

16:10 1

16:30

休 憩

(パネル展示)

13:50~14:30 宇宙の夜明け 巨大ブラックホールの起源-吉田 直紀 (東京大学教授)





▲ 宇宙のはじまり・

14:30 14:50~15:30 超大規模シミュレーションが 拓く気象学の最先端 1 坪木 和久 (名古屋大学 教授) 14:50





13:00~13:10

▲ 気象の予測

憩

(パネル展示)

15:30~16:10 ビッグデータと数理モデル : 経済物理学の先端で

高安美佐子 (東京工業大学 准教授)





株や為替と数理モデル

16:30~17:10 核融合: プラズマカレイドスコープ

(自然科学研究機構核融合科学研究所 准教授)



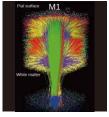


▲ 核融合・プラズマ・

17:10~17:50 脳の実スケール回路モデル ~行動制御の仕組みを探る

銅谷 賢治 (沖縄科学技術大学院大学 教授)





▲ 脳の実スケールモデル・

17:50~18:00

閉会挨拶

※題目はすべて仮題であり、講演者が変更する場合もあります。

自然科学研究機構各研究所のパネル展示開催!

地下鉄 **名城線** 「名古屋大学」駅 番出口より徒歩約3分

(会場) 名古屋大学豊田講堂

(愛知県名古屋市千種区不老町)



要・事前申込 下記WEBサイトよりお申込ください。 Ustream・ニコニコ生放送のご視聴は

下記WEBサイトより。

http://www.nins.jp/sympo19.php

